

課題名 (タイトル) :

音素カテゴリ獲得過程の計算論的解析

利用者氏名 : ○宮澤 幸希*

所属 : *本所 脳科学総合研究センター 言語発達研究チーム

1. 本課題の研究の背景、目的、関係するプロジェクトとの関係

申請者らは乳児が母国語の音素体系を獲得する過程の計算論的解析に従事している。申請者が提案する教師なし学習のアルゴリズムは、数分～数十分の音声の音響信号の統計的分布から、音素体系の教師なしクラスタリングが可能である。本プログラムは 1 ミリセカンド毎に 39 次元～200 次元の特徴量を処理する必要があり、計算には多くのコストと時間がかかるため、スーパーコンピュータを使ってシミュレーションを行う。

6. 利用がなかった場合の理由

平成 24 年度のテストランを経て、平成 25 年度は本格的なシミュレーションを実施する予定であったが、本研究の開始時期が変更になったため、今年度は RICC を利用しなかった。